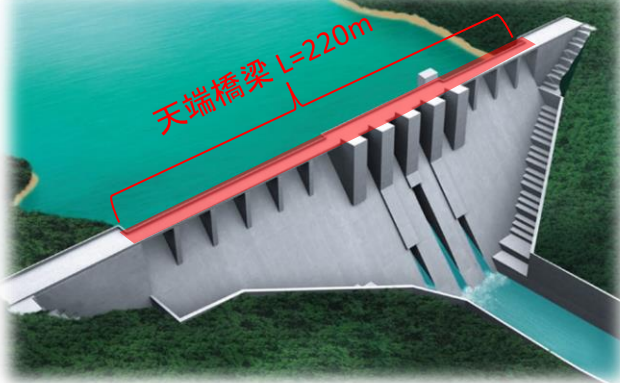


◇天端橋梁架設工事

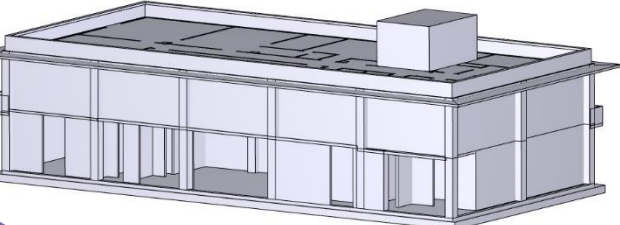


平瀬ダムの天端は堤頂長300mの内、越流部の220m区間に橋を架け、完成後、市道として供用する予定です。車道幅員は最も狭い箇所4.0m、歩道幅員は2.5mあります。架設工事は2019年3月から開始し、同年7月末頃に完了する予定です。既に架設済みの足瀬橋、国道434号と合わせて、貯水池(常時満水位)を周回できる道路となります。



足瀬橋

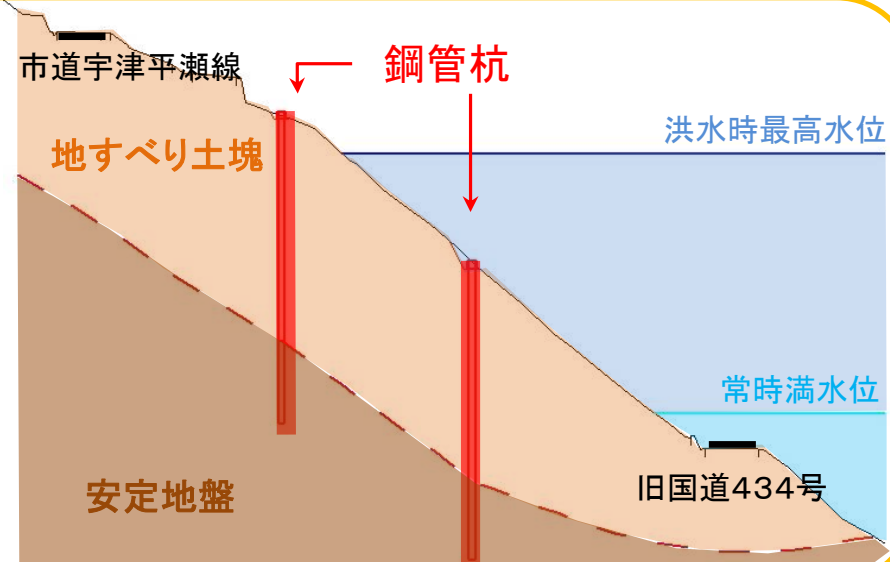
◇管理棟新築工事



平瀬ダムの運用時の管理を行う管理棟をダム左岸に建築予定です。堤体打設の設備を撤去後、2019年度中に工事を開始し、2020年度には完成する見込です。運用開始後は、点検など日常的に管理をするため、職員が常駐します。

◇地すべり防止工事

平瀬ダムの貯水池周辺の地質を調査した結果、湛水に伴い地すべりが発生する恐れがある箇所が判明しました。これを防ぐために鋼管杭と呼ばれる直径70~90cmの鉄の杭を地面に打込み、すべる可能性のある土塊を安定させる工事を行います。2018年12月に山口県と施工業者間で工事請負契約を締結しており、2022年10月の湛水試験までに286本の鋼管杭を打込む予定です。



◇林道付替工事

ダム湖周辺の山を管理するための林道を建設中です。現在は最後の路線である足瀬橋より上流の右岸側の建設を行っています。左岸側の国道434号と合わせて、足瀬橋より上流の貯水池も周回できる道路になります。



◇河川公園整備工事

貯水池最上流の須金地区に河川公園を整備中です。この場所は6月頃になると多くの蛍が飛び交う様子が見られます。



完了!  
平瀬ダム  
堤体打設





# 堤体工事の変遷



2014.5

## 工事着手前

平瀬ダム の 建設計画・調査は1973年から行っており、検討の結果、現在の場所に決定しました。1989年より事業を開始し、初めは貯水池周辺の道路の建設等を行っています。堤体周辺の工事に関しては、2007年から転流トンネル（堤体工事中、錦川を迂回させる施設）の工事を開始し、2009年に完成しています。堤体本体の工事は2014年3月に山口県と施工業者間で工事請負契約を締結し、同年7月から工事箇所の伐採を開始しています。

## 掘削開始

2015年から転流を開始、同年2月から堤体建設箇所の掘削を開始しています。44tブルドーザなどの巨大な機械で掘削しますが、機械では掘れない硬岩は発破しています。堤体の基礎になる岩盤を露出させますが、堤体上部のコンクリート打設は2~3年後となるため、一時的にモルタルを吹付け、風化を防止します。打設の数日前にモルタルを取壊し、再度岩盤を露出させます。



44tブルドーザ

## 打設開始～1年

2016年2月から堤体のコンクリート打設を開始しました。ダム左岸天端に設置したバッチャープラント（写真右上）でコンクリートを製造し、ダム上空に架けられたケーブルクレーンでコンクリートを運搬、打設します。日中の気温が高い時期には夜間にも打設を行っています。同年8月には建設工事の安全を祈念して、定礎式を行いました。



定礎式

## 打設1年～2年

打設開始から約1年後の2017年2月にコンクリート打設量が10万m<sup>3</sup>（約30%）に到達しました。堤体下流にはダムからの維持流量で水力発電を行う平瀬発電所の建屋が完成し、大雨時の放流の勢いを緩衝するための減勢工のコンクリート打設も開始しています。下流側にはケーブルクレーンが届かないため、バッチャープラントで製造したコンクリートをトラックで運搬し、120tクローラクレーン（写真中央）により打設を行っています。コンクリート打設は順調に推移し、2017年10月に20万m<sup>3</sup>（約60%）に到達しました。



2018.5

## 最終打設

2019年2月27日に堤体の最終打設を行いました。平瀬ダム共同企業体所長の号令でバッチャープラントでのコンクリート練りが始まり、ケーブルクレーンにより堤体へ運搬、最後の1区画へ打設されました。その後、作業員により締固め作業が行われると、関係者一同で万歳三唱や記念撮影等が行われました。導流壁や副ダムの打設は一部残っていますが、ケーブルクレーンによるコンクリート打設はこれで最後となり、打設設備の撤去作業に入ります。



## その他の話題

### 見学会

2015年12月から2018年10月までに延べ約5000の方が見学に来られました。昨年はテレビ番組での見学もありました。（見学会受付は2018年10月で終了しています）



2018.8

## 打設2年～3年

堤体打設は中央のオリフィスゲートや天端橋梁の橋脚に入り、減勢工の導流壁や副ダムの建設も進んでいます。工事着手当初、建設現場は山に隠れて現道からは見えませんが、国道434号の弁天橋付近からも堤体を目視できる高さになりました。構造的に複雑な部分の建設に移り、打設速度は下がったものの、2018年8月に30万m<sup>3</sup>（約90%）に到達、打設開始から3年後となる2019年2月には34万m<sup>3</sup>（約100%）に到達しました。



弁天橋から



## 錦の白たぬき

平瀬ダムのある錦町は豊かな自然に囲まれており、当事務所にもたぬきやきつね等がやって来ます。最近では毛が白色のたぬきも見かけられます。

白たぬき

たぬき



2019.1